

大阪マラソン公式テーマソングの制作について

■チャリティ事業の充実に向けて

大阪マラソンは、第1回大会（2011年）より「みんなでかける虹。」を大会スローガンとして、全ての参加ランナーにチャリティプログラムにご賛同いただき、虹の7色の各色に設定されたチャリティテーマから自ら選択し、寄付をお願いしております。また、第4回大会に向けて、寄付先団体を13団体の増や、チャリティランナー制度を充実させるなど、世界一のチャリティマラソンをめざしております。

■大阪マラソン公式テーマソング制作にあたって

・コブクロ小淵健太郎さんとの出会い

第2回大会。2010年、喉の不調から余儀なく休養を強いられる。休養期間中に、自身の基礎体力作りの為にジョギングを開始。休養期間中に改めて感じたファンのサポートに感謝し、その想いを伝えたいとフルマラソンに初挑戦することを考え始める。

その頃、大阪マラソンチャリティアンバサダーとして出場を打診。

コブクロにとって大阪は路上ライブをやり、インディーズ時代から活動していた言わばアーティストとして世に誕生した場所。小淵さんは大阪マラソンのチャリティの趣旨に賛同され出場を決意いただいた。

・大阪マラソンへ出場からテーマソング制作に至るまでの経緯

日夜練習を重ねて、第2回大会に出場。はじめてのフルマラソン出場にもかかわらず見事サブ4の記録を達成。フィニッシュ後に「大阪の人々の熱く人懐っこい応援に力をもらって、とても良かった。また走りたい。」と感想を述べられました。

第3回大会も走っていただくことになり、ウェルカムパーティーの席で大阪マラソン組織委員会の松本会長より「大阪マラソンの想いがみんなに伝わるようなテーマソングをぜひつくってほしい」と依頼。小淵さんは、最初は社交辞令だと思ったらしいです。しかし、2回走ってみて感動した気持ちや、チャリティアンバサダーとして大阪マラソンのチャリティにかける想いに共感したことをどうやらみんなに伝えられるのか。そのようなことを漠然と考えるうちに、やはりアーティストとしてできることは、テーマソングを作って、歌で伝えることではないかと考え、テーマソング制作の依頼を受けることを快諾。

・大阪マラソン公式テーマソング

ランナーとして大阪を駆け抜ける喜び。チャリティを通じて平和の虹をかけようという想い。市民の多様な個性を掛け合わせた沿道応援の熱さ。そんなみんなのたくさんの想いがつまんだ歌になりそうです。

・大阪マラソン公式テーマソングにかける思い

大阪マラソンは、この歌と共に、明日に向かって希望の「虹」をかけていきたいと思えます。みなさまにも、この歌に込めた我々の想いが届けば幸いです。

■コブクロ 小淵健太郎さんのメッセージ(公式テーマソング制作にあたって)

今回、コブクロとして、大阪マラソンのテーマソングを作らせてもらう事になりました。自分が大好きで出ている大会のテーマソングを書かせてもらえるなんて、これはミュージシャン冥利&ランナー冥利に尽きる出来事です。いつも練習の時に音楽プレーヤーで聞いているのは、走るテンポに合わせたリズムの良い音楽ばかりです。そこに流れる希望的なメロディーや大阪らしい楽しい雰囲気も織り交ぜて、走りやすい楽曲に仕上げられたらなあと思っています。コブクロの楽曲と共に大阪マラソンに参加される皆さんの気持ちが更に盛り上がることを期待して、元気な作品を作ります！

コブクロ 小淵健太郎